

2021年9月28日

報道関係者各位

生物多様性を保全し、生態系を維持する取り組み推進に向けて
「明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森」が
「緑の認定 SEGES そだてる緑 Excellent Stage 2」の認定を受けました

明治ホールディングス株式会社（代表取締役社長 CEO：川村 和夫）傘下の、KMバイオロジクス株式会社が所有する「明治グループ自然保全区 くまもと こもれびの森」（以下、こもれびの森）が、緑の認定 SEGES（シージェス：社会・環境貢献緑地評価システム）「そだてる緑」部門において、最上位から3番目のステージである「Excellent Stage 2」の認定を受けました。

緑の認定 SEGES とは、公益財団法人 都市緑化機構が運営する、企業等が所有・管理する緑地とそこでの取り組みが社会や環境に貢献しているかを客観的に評価・認定する制度です。

明治グループの事業は、生乳やカカオ、乳酸菌、抗生物質に代表される微生物など、豊かな自然の恵みの上に成り立っています。明治グループでは、生物多様性の損失は重大な社会課題であると認識し、事業活動ならびに生産拠点や所有する企業緑地において、生物多様性の保全・再生に向けた取り組みを推進しています。

「こもれびの森」では、2020年から自然調査を実施し、国や県のレッドリストに掲載のある希少な野生動植物種を確認しています。「こもれびの森」は豊かな自然環境と生態系が保たれ、地域生態系にとって重要な緑地であることがわかりました。緑の認定 SEGES では、「こもれびの森」の緑地の価値や、地域社会・自然環境への貢献度、緑地保全の管理体制を評価されました。

今後は、「こもれびの森」の一部の荒れた樹林地の整備回復や侵入竹の伐採、外来動植物種の駆除、そして環境教育プログラムなど、緑を守り育てる取り組みを地域社会とともに進め、生物多様性の保全に努めていきます。



<取得認定概要>

1. 認定内容：「緑の認定」制度 SEGES「そだてる緑」部門「Excellent Stage 2」
2. 認定日：2021年8月5日

<こもれびの森の概要>

1. 立地：熊本県菊池市旭志川辺 1314 番地 1 KMバイオロジクス(株)菊池研究所敷地内
2. 面積：4つ（A～D）のゾーンからなる緑地で総面積は約 6.7ha
3. 概要：スギ、ヒノキ、クヌギ、コナラなどからなる、豊かな自然環境が保たれた樹林。キンランやギンランの群生、フクロウ、テン、ヤマアカガエル、ヤマトタマムシなど、国や県のレッドリストに掲載のある希少な野生動植物種が観察できる。豊かな生態系が保たれており、地域生態系にとって重要な役目を担っている。

<こもれびの森での生物多様性保全活動>

1. 実施日：2021年7月31日
2. 参加者：KMバイオロジクス(株)従業員とその家族 10組 27名
3. 活動内容：昆虫観察会、同森に群生する竹を使った竹細工 等

・こもれびの森概要写真



・生物多様性保全活動風景



以上

【本件に関するお問い合わせ先】

明治ホールディングス株式会社 IR 広報部

TEL：03-3273-3917

メールアドレス：ir-info@meiji.com